

# 駒生川に魚道をつくる会

設立：H21.10  
所在地：美幌町

## 団体の概要

「駒生川に魚道をつくる会」は、孫からの「魚がない」という一言をきっかけに、魚道をつくらうと思いついた橋本光三さんを会長に、「故郷に魚が泳ぐ川を取り戻したい」という地域の住民の熱い思いから、平成21年に発足しました。

住民や大学生、博物館や役場職員など、のべ21230人の協力により、平成23年から2年間で7基の手作り魚道を設置しました。

その結果、平成25年には、駒生川の上流にサケやサクラマスなどの魚が約40年ぶりに遡上しました。

魚道の耐久性や魚類の調査を行い、必要に応じて、魚道の修理や改良を行うほか、河川環境を守る取組の普及を行うなど、活動が続きます。



# 団体の取組等

## ○手作り魚道の工夫点

魚道の設置にあたっては、丸太や畑から取り除かれた石など、地域にある材料を活用して、段差を軽減しました。

また、石をつけた斜路を設置し、多様な流れを生み出すことにより、フクドジョウやハナカジカなどの遊泳力の乏しい魚でも、段差を越えられるように工夫しました。

身近な材料を使用することで、経費を大幅に減らすことができました。



改善前



改善後



## ○アイスハーバー魚道の改良

平成25年には、駒生川下流のアイスハーバー魚道を改良しました。

隔壁の両サイドにある越流水通しのうち、右岸側の水通しに角材と石を埋め込み、底生魚が上りやすい緩やかな勾配にしました。

